※令和５年度以降入学生用

学校番号	3033

令和５年度　公民科

教科	公民科	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「公共」　（第一学習社）						
副教材等	最新　公共　資料集 2023　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代の諸課題について、様々な方向から考察し、その課題に対する自分の考えを表明できる。
・市民社会の一員としての自己の生き方、あり方を考察することができる。
・自分の意見を発表することができ、他者の意見も尊重しながら、議論できるようになる。

２　学習の到達目標

・現代の諸課題を追及したり解決したりする活動を通じて、広い視野に立ち、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の形成者に必要な資質・能力を育成することを目指す。
・現代の諸課題の解決に向けて、社会の基本的な原理を理解し、事実を多面的・多角的に考察し公正に判断する力や議論する力を養う。
・よりよい社会の実現のために、現代社会の諸問題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方や生き方について考察していく。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に調べている。	現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や基本的原理を活用して、事実を多面的に考察し、公正に判断したり、合意形成ができるように議論したりすることができる。	よりよい社会の実現のために、市民社会の一員としての自覚を持ち、現代の諸課題に主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和５年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第１編 第1章 公共的な空間をつくる私たち	Ⅰ　公共的な空間と人間とのかかわり 1社会に生きる私たち 2個人の尊厳と自主・自律 3多様性と共通性 4キャリア形成と自己実現 Ⅱ　社会に参画する自立した主体として 1伝統や文化とのかかわり	a: ・人生の中で青年期がもつ意味や、個人として相互に尊重し合うこと、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることについて理解している。 b: ・公共的な空間と人間との関わり，個人の尊厳と自主・自律，人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 ・地域社会などのさまざまな集団の一員として生きるとともに，日本の伝統や文化を基盤とし，異文化などの他者との協働により，人間としてのあり方・生き方を多面的・多角的に考察している。	定期考査	定期考査	
	第２章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	Ⅰ　人間としてのあり方生き方についての探求 1 人間と社会のあり方についての見方・考え方 2 実社会の事例から考える～環境保護 3 実社会の事例から考える～生命倫理	a: ・選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である幸福を重視する考え方や，行為の動機となる義務を重視する考え方などについて理解している。 ・事例をもとに，行為者自身の人間としてのあり方生き方について探求することが，よりよく生きていく上で重要であることについて理解でき，諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けられる。 b: ・倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，多面的・多角的に考察，表現できる。 c: ・公共的な空間でどのように生きるかについて，先哲の生き方などを参考に，人間	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和５年度以降入学生用

			としてのあり方生き方について，現代の諸課題を主体的に解決しようとする。			
	第3章 公共的な空間における基本的原理	Ⅰ　自立した主体となることに向けて 1 人間の尊厳と平等 2 個人の尊重 3 民主政治の基本的原理 4 法の支配 5 自由・権利と責任・義務 Ⅱ　よりよい公共的な空間づくりをめざして 1 世界のおもな政治体制 2 日本国憲法に生きる基本的原理	a: ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 ・人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解している。 ・個人と国家・社会との関係から，世界のおもな政治体制について，自己のあり方生き方と民主主義がどのように関係しているか理解している。 b: ・公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現できる。 c: ・公共的な空間における基本的原理や憲法の基本的原則を関連させながら，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
2学期	第2編 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割	1 私たちの生活と法 2 法と基本的人権 3 自由・平等と法・規範 4 法をよりよく変えていくために	a: ・法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・法は国民の活動を積極的に促進し，紛争を解決するなど，日常生活に密接に関連していることを理解している。 ・基本的人権が保障されるにいたった経緯を，現実社会の諸課題に関わる諸資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 b: ・法をよりよく変えていくために，自由権の意味や，社会権が私たちの生活をどのように変えたのか，新しい人権とは何かをさまざまな立場に立って考察できる。	定期考査	定期考査	

※令和５年度以降入学生用

	主題2 契約と消費者の権利･責任	1 さまざまな契約と法 2 消費者の権利と責任	a: ・成年年齢が 18 歳以上となったことに対し，成年年齢の意味と成年の責任について理解している。 ・契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けられる。 b: ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題について，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりできる。 c: ・契約と消費者の権利・責任について，現代の諸課題を具体的な例をもとに，主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	主題3 司法参加の意義	1 裁判所と人権保障	a: ・国民の権利を守り，社会秩序を維持するために，公正な裁判が保障され，法律家が重要な役割を果たしていることを理解している。 b: ・検察審査会や国民の司法参加の意義など，具体的な主題について，その主題を追究・解決するために考察したり構想したりできる。	定期考査	定期考査	
	第2章 政治的な主体となる私たち 主題 4 政治参加と公正な世論の形成	1 選挙の意義と課題 2 政治参加と世論形成 3 国会と立法 4 内閣と行政の民主化 5 地方自治と住民の福祉	a: ・政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・選挙権年齢が 18 歳以上であることを踏まえ，選挙の意義や，政治的無関心の危険性などについて理解している。 ・国会の地位と構成・権限，議院内閣制のしくみ，内閣総理大臣の権限，行政の民主化について，理解している。 b: ・選挙のしくみ，政党の役割，世論の形成について，さまざまな情報手段を活用して，考察，構想し，表現できる。 ・地方自治には，直接民主制の考え方に基づくしくみが，国政よりも多く取り入れられていることを理解しつつ，地方自治の課題についても考察，構想し，表現している。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和５年度以降入学生用

			c: ・政治参加と公正な世論形成について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
	第３編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	①地球環境問題～排出量取引を考える ②資源･エネルギー問題～ベストミックスを考える ③生命倫理～ゲノム編集を考える ④情報～インターネットによる投票を考える ⑤国際社会の課題～フェアトレードを考える	b: ・主体的に課題を見いだし，課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述している。 c: ・現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		提出物	提出物
	第2編 第2章 政治的な主体となる私たち 主題５ 国際社会と国家主権	1 国家と国際法 2 国境と領土問題 3 国際連合の役割と課題	a: ・国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b: ・国際社会と国家主権，国際機関の役割について，国境や領土をめぐる諸課題を主体的に解決するため，国際平和を維持するために，必要な情報を収集し，考察，構想できる。	定期考査	定期考査	
	主題６ 日本の安全保障と防衛	1 平和主義と安全保障 2 核兵器の廃絶と国際平和	a: ・日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるように，現実社会の諸課題に関わる諸資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 b: ・日本国憲法の平和主義をふまえ，日本の平和を維持するためには何が必要かを考え，軍縮の意義や効果について，さまざまな観点から考察している。	定期考査	定期考査	
	主題７ 国際社会の変化と日本の役割	1 今日の国際社会 2 人種･民族問題と地域紛争 3 国際社会における日本の役割	a: ・国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・人種・民族問題と地域紛争の実態，難民問題という課題の解決に向けて，国際社会では何がおこなわれているか，理解している。 b: ・変化する国際情勢の中で，日本の安全が世界の平和の維持といかに関連しているか，広い視点に立って理解し，さまざまな観点から	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和５年度以降入学生用

			考察できる。 ・国際社会の安定について，国民レベル，国家レベル，国際レベルで何ができるかを，さまざまな観点から考察し，論拠をもって表現できる。 c： ・国際社会の変化と日本の役割について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
3学期	第３章 経済的な主体となる私たち 主題８ 雇用と労働問題	1 私たちと経済 2 労働者の権利と労働問題	a： ・私たちは，どのように経済活動に参加しているのかを学び，仕事と生活との調和という観点から，雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b： ・雇用と労働問題について，日本的雇用慣行の崩れなど，現代の諸課題を主体的に考察，構想し，論拠をもって表現している。 ・近年の雇用事情の変化とさまざまな労働問題について，具体例をあげて多角的に考察，構想し，論拠をもって表現している。 c： ・雇用と労働問題について，現代の諸課題を主体的に解決し，自分の将来のあり方について考えようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	主題９ 社会の変化と職業観	1 技術革新の進展と産業構造の変化 2 企業の活動 3 農林水産業の現状とこれから	a： ・社会の変化と職業観について，人工知能の進化の影響や農林水産業の課題など，現代の諸課題を理解している。 b： ・企業の役割や種類から，株式会社のしくみや企業の社会的責任，農林水産業の課題について考察，構想できる。	定期考査	定期考査	
	主題 10 市場経済の機能と限界	1 市場経済と経済運営 2 市場経済のしくみ 3 経済発展と環境保全 4 経済成長と国民福祉	a： ・経済の基本的なしくみと資本主義経済，社会主義経済の特徴を理解している。 ・市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b： ・価格の変化が，消費者と企業の行動にどのように影響を及ぼしているか，さまざまな観点から多面的・多角的に考察，構想できる ・外部不経済の典型例である公害について理解し，公害を防止し環境を保全するための方	定期考査	定期考査	

※令和５年度以降入学生用

			策について考察，構想できる。			
	主題 11 金融のはたらき	1 金融の意義や役割	a: ・金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題，資金の流れ，金融機関の役割，日本銀行の役割について理解している。 b: ・金融のはたらきについて，現代の諸課題を踏まえて，自立した主体として解決するための考察ができる。	定期考査	定期考査	
	主題 12 財政の役割と社会保障	1 政府の経済的役割と租税の意義 2 社会保障と国民福祉	a: ・財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・社会保障の意義を理解し，現在の社会保障の課題について考察している。 b: ・財政政策の意義，日本の財政の課題を理解し，財政のしくみ，租税の意義と課題について考察できる。 ・社会保障制度の充実・安定化に関し，各国の租税負担など財政状況を比較しながら，日本の社会保障制度の諸課題を多面的・多角的に考察，構想，表現している。 c: ・財政の役割と社会保障について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	主題 13 経済のグローバル化	1 国際分業と国際貿易体制 2 国際収支と為替相場 3 経済のグローバル化と日本 4 地域的経済統合の動き 5 国際社会における貧困や格差 6 地球環境問題 7 資源･エネルギー問題 8 国際社会のこれから	a: ・経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・貿易の意義，円高・円安が生じる理由，貿易摩擦などについて，理解している。 b: ・国際経済問題の解決のために，国家や国際機構などの多様な組織がどのように協力できるかを考察できる。	定期考査	定期考査	

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度